



# の園だより



2021.5.1 発行  
社会福祉法人 楡の会  
児童発達支援センター  
きらめきの里

新入園のお子さんを迎え、れもん・ばなな・いちご・すいかの4クラスで、新年度がスタートして1か月…コロナウィルスの感染防止対策を継続しつつ、子ども達の成長を促せる楽しい療育が出来る様に努めてまいります。

皆さまのご協力よろしくお願いたします。

楡の会の『好い事作り療法』は、心理療法を用いた子育て方法です。



図星を言った上で、カウントダウン・二つ先のアナウンス・OKの声かけ（ダメの声掛けはしない）・やっても無害に・好きな物の利用などの『技』を理解、利用して、お母さんも『やった！上手くできた！』の達成感をいっぱい実感して、楽しく子育て出来るように応援します！

## ★★★今月のエピソード★★★

3月に卒園したAくんのママから、『きらめきのお世話になった先生方に』と、頂いたお手紙をご紹介します。

「6月からの短い期間でしたが、大変お世話になりました！！ものすごく充実した9ヶ月でした！！母子通園は正直しんどくて特にほっぺ（給食）の後の自由時間は早く休憩時間になってくれえ～！！とっていました。（笑）でも、先生方や他のお母さん達からたくさんの事を教えてもらって本当に助けられました。

何を聞いても明確なアドバイスがもらえて、とても心強かったです。

単独も、私はとても心配症なので、ああしてこうして言いたくなってしまったり、今日何したのかどんな様子だったのかいちいち全部聞きたいタイプなんですけど、初めて、先生方ならお任せでいいや～と思えるくらい信頼して安心して送り出すことが出来ました。自分のメンタル的にも、ものすごく救われていました♪

まだまだ困り事の連続ではあるけれど、この半年くらいで、Aのものすごい成長を感じていて、人への興味や遊びの幅が広がっていることにびっくりだし、何より言葉は出なくともAと通じ合える喜びをかみしめています。

卒園式は本当に感動しました！！今までは“できたね”“頑張ったね”と口では言っているけど内心ではなんでうちの子だけ何にも出来ないんだろうとっていて、この子はどうせ何にもできない子だからとあきらめることで、劣等感を押し殺してきた日々だったけど、やっと最近、心からの“がんばったね”“すごい!!”が言えるようになって、卒園式のAはとてもかっこよくて誇りに思いました。こんなふうに思えたのは、初めてです。

きらめきの里に来なかったら、こういうふうに思うことはできなかったと思うので、本当に感謝です♥

学校と放課後デイは、どうなるやら、もう不安でいっぱい、胃が痛い毎日ですが、今までも散々な日々をなんとか乗り越えてここまで来れたので、きっと大丈夫と信じて頑張ります！（通うのは私じゃないんですけど…）

どうにもこうにもならなくなったら助けを求めに来ますので、その時は宜しくお願いします…。

楽しい9カ月、本当にありがとうございました！！たくさん迷惑もかけてしまいすみません。でもいつでも優しく向き合ってもらえてうれしかったです♥ 本当にきらめきの里に通うことができ 幸せでした♥ 」

…入学後、自傷したり荒れたけれど、思ったより早く安心が出来てもう乗り越えて、学校の先生に「Aくんお手本になっていますよ」と言ってもらえているそうです。（ママ談） ～“好い事作り”で幸せ作りしましょう～田野